船橋市議会議員

# ひいろ健人（たけと）

市議会レポート
第12号

発行：ひいろ健人（たけと）事務所　船橋市海神 6-11-9（移転しました）　TEL 047-420-1800　FAX 047-420-1801

E-mail　info@taketo2784.net（フナバシ）　http://www.taketo2784.net（フナバシ）（活動ブログ更新中!）

## □3月議会　合併・政令指定都市問題を問う！
## ～市長「今は新たな取り組みを行う環境にない」～

去る 3 月 8 日（月）、市政執行方針および議案に対する質疑に登壇し、合併・政令指定都市問題について市長の見解を問いました。

この問題については、平成17年に藤代市長が 3 選を果たした翌日の記者会見において合併・政令指定都市移行に意欲を示したと報じられて以来、議会のみならず多くの市民の間で議論を呼んでいます。

市当局においても、企画部が中心となって調査研究に取り組み、昨年3月には船橋・市川・松戸・鎌ケ谷の 4 市からなる「東葛飾・葛南地域 4 市政令指定都市研究会」の報告書が公表され、合計160万人規模となる 4 市の合併は「有効に機能する可能性が高い」とする内容でした。これに基づき、平成21年度には啓発パンフレットなどの作成や、出張説明会の開催、市民意識調査の実施などが精力的に行われてきたところです。

船橋の未来を考える

しかしながら、今回提案された平成22年度予算案には、合併・政令指定都市移行に関する新たな調査研究費用、または広報広聴費用が一切計上されていませんでした。これをどう理解するべきなのでしょうか。

また、多くの市民の皆さんからは、「市では時間と労力をかけて調査を行っているようだが、合併は進むことになったのか」との質問をしばしば受けています。昨年の広報広聴事業の結果、市民の関心が高まっているにも関わらず、今年は何もしない、ということでは市民は戸惑うばかりです。そこで、市長に以下のように質問を投げかけました。

**Q. 日　色**　①市長は、平成21年度に実施した、一連の合併・政令指定都市移行問題に関する広報広聴事業に対して寄せられた市民の声をどのように受け止めたのか。
②今回、合併・政令指定都市移行問題関連事業にさらなる研究等の一切の予算計上がなされなかったことの理由は何か。
③研究報告とそれに対する市民の声を受けて、市長は合併・政令指定都市移行問題に対し一定の判断を下し、市の方向性を定めるべきと考えるが、船橋市の将来のために、この選択肢をどのように考えるのか。

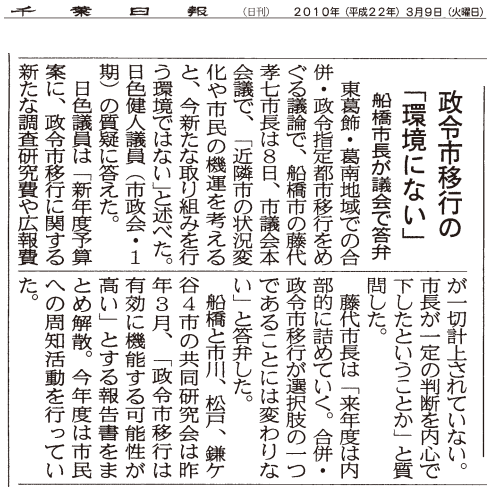
**A. 市　長**　今年度（平成21年度）は市民への周知と議論の喚起に努めてきた。
市民にもさまざまな意見があり判断が難しい。国、近隣市の状況が変化している。
状況や市民の機運を考えると、今は新たな取り組みを行う環境にないと考えるので、再度新たな枠組みを組んで共同研究などを行うのではなく、内部的に詰めていくということで予算計上しなかった。
議員から、『今の時点で一定の判断を』とのことであるが、私としてはまだ判断する時ではないと考えている。合併政令市が船橋市の将来にとって選択肢の一つであるとの考えに変わりはない。
今後状況を注視しつつ、私なりに判断したい。

上記のような答弁に対して私からは、難しい判断であることは理解するが、状況は常に変化するものであり、判断の遅れが市政発展の遅れになってはならない。市民・職員は市長の判断を待っている、と市長のリーダーシップを重ねて求めました。

質疑で明らかになったとおり、この問題について市長は現時点では判断しない（できない）との答弁にとどまりました。しかし仮に、研究を続けたとしても合併の枠組み・選択肢は無数にあり、すべてに満足いく研究など未来永劫終わることはないでしょう。

この問題が動き出さないのは、「合併・政令指定都市移行をしなければならない必然性」、あるいは「合併・政令指定都市移行で解決する問題」が、「そうしなくてもよい可能性」ないし「それにともなって発生する問題」を上回る説得力をどこにも見出しえないからではないでしょうか。

もちろん、将来のために本当に必要な決断であれば、こうした課題を政治の力が乗り越える可能性はあります。しかしそれには、強いリーダーシップに基づく市長の明確な意志とそれを支える市民の機運が必要であり、そのいずれも無い現状でこの問題をいたずらに引き延ばすことは時間の浪費になりかねません。



千葉日報（日刊）　2010年（平成22年）3月9日（火曜日）

政令市移行の「環境にない」
船橋市長が議会で答弁

東葛飾・葛南地域での合併・政令指定都市移行をめぐる議論で、船橋市の藤代孝七市長は8日、市議会本会議で、「近隣市の状況変化や市民の機運を考えると、今新たな取り組みを行う環境ではない」と述べた。日色健人議員（市政会・1期）の質疑に答えた。

日色議員は「新年度予算案に、政令市移行に関する新たな調査研究費や広報費が一切計上されていない。市長が一定の判断を内心で下したということか」と質問した。

藤代市長は「来年度は内部的に詰めていく。合併・政令市移行が選択肢の一つであることには変わりない」と答弁した。

船橋と市川、松戸、鎌ケ谷4市の共同研究会は昨年3月、「政令市移行は有効に機能する可能性が高い」とする報告書をまとめ解散。今年度は市民への周知活動を行っていた。

質疑を報じる新聞記事

3 年間の議員活動を経て、若干なりとも市の仕組みが理解できるようになったいま、合併及び政令指定都市への移行は、船橋市にとって短期的に目指すべき指針ではないと私は考えています。

この問題に頭を悩ませ、エネルギーを使い、優秀な職員を従事させ続けるより、いったん問題を凍結し、今ある課題の対処に全力を投じるべきです。いたずらに市民を迷わせつづけることは、一種のミスリードになりかねません。市長の早急な判断を引き続き求めたいと思います。

# ■平成22年度予算成立
## ～高齢者福祉サービス見直し、国民健康保険料値上げへ～

3月26日（金）、3月議会は閉会し、平成22年度予算をはじめとする市長提出の38議案はすべて可決成立しました。今回の議会で最も議論を呼んだのが、高齢者福祉サービスの見直しと、国民健康保険料の値上げです。以下、内容と議論のポイント、私の意見を示します。（その他の議案については、4月25日発行の「市議会だより」をご覧下さい。）

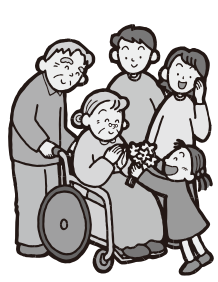
### ★ひとり暮らし老人　無料入浴券交付事業

内　容：65歳以上で一人暮らしの高齢者に、公衆浴場の無料券（420円×年60枚）を交付する。
目　的：一人暮らしの高齢者が地域社会との交流を通じて孤独感の解消を図る。
問題点：閉じこもり予防の効果が不明、浴場のない地域（市北部など）では利用の機会がない。
↓
22年度から：利用可能日を指定したうえで（交流の機会を作る）年36枚に削減。あわせて1回100円の自己負担を設ける。

### ★はり・きゅうマッサージ等施術費助成事業

内　容：65歳以上の高齢者に、はり・きゅう・マッサージ等の施術助成券（1000円×12枚）を交付する。
目　的：施術を受けやすくし、高齢者の健康を増進させる。
問題点：予算の増加、効果の評価が困難
↓
22年度から：対象者を70歳以上に引き上げ、かつ低所得（市民税非課税）の高齢者のみに限定する。
一方で、老老介護従事者などや、介護予防事業参加者などへ対象を拡大する。

### ★敬老祝金・敬老記念品購入券事業



内　容：75歳・77歳（喜寿）・85歳・88歳（米寿）・95歳・99歳（白寿）・100歳以上の高齢者に祝金や敬老記念品購入券（商品券）を贈る。
目　的：高齢者を敬い、長寿を祝う。
問題点：平均寿命の延伸に伴う予算の増加、制度の重なり合い、そもそもお金を配ることが敬老か？
↓
22年度から：77歳（1万円）、88歳（2万円）、99歳（3万円）、100歳以上（5万円）のみに一本化。

### ★敬老行事交付金事業

内　容：町会自治会等で敬老行事を開催する場合、交付金（地域に住む70歳以上の高齢者×2,000円）を交付する。
目　的：長寿を祝い、敬老思想の高揚を図る。
問題点：予算の増加、地域による敬老会参加率の高低、主催者の高齢化等
↓
22年度から：対象年齢を75歳以上へ引き上げ。

### ★国民健康保険料

内　容：主に自営業者や農林水産業従事者、社保加入資格のないパート・アルバイト勤め、年金受給者などの方々が入る健康保険。船橋市では現在約3割の市民（16万人強）が加入。
問題点：保険料収入の減少、医療費の高騰などにより収支が悪化、一般会計からの繰り入れが多額（約40億円）に上る。
↓
22年度から：均等割（世帯ごとの加入人数に応じて賦課される金額）を年9,500円引き上げる。（これにより、一般会計からの繰り入れを約10億円以上抑える）

まず、今回見直しとなる高齢者福祉サービスについては、それぞれ多数の利用者がいるだけに、反発も予想されることから、幅広い周知と丁寧な説明を担当者には求めたいと思います。

税収増が見込めない中、現行のような「広く（誰でも）・薄く・効果は二の次」のサービスではなく、「本当にサービスを必要とする人に」「本当に必要な量を」「常に費用対効果を検証しつつ」提供する必要があると私は考えます。（今回の見直しでは、ただサービスを切るだけでなく、一人暮らし高齢者や認知症高齢者、老老介護従事者などへの別種のサービスの新設が盛り込まれていることも触れておきます。）その意味で、今回の見直しを評価するとともに、これにとどまらずあらゆる行政サービスにおいて不断の見直しを求めます。

また、国民健康保険料の値上げについても、やむをえないものと私は思いますが、今回の改定がいつまでその効果を保つことができるのか疑問であるのも事実です。高齢化（とそれに伴う医療費の増加）は今後も続くことに変わりなく、景気の回復以外に財政状況が好転する見通しは立っていません。

国民健康保険財政の悪化は船橋市に限った話ではなく、全国的な課題であることもあり、国でも様々な改善策が検討されているようです。その動向を注視すると同時に、いわゆる「はしご受診」の防止やジェネリック医薬品の推進などの医療費抑制策、そしてなによりも健康増進施策によって受診そのものが減るような総合的な対策を講じる必要があります。

同時に、相互扶助の観点に立って、国民健康保険特別会計へ一般会計からの繰り入れを行うにしても、その水準・規模には何らかの基準が必要です。国民健康保険の問題を、単に加入者と保険料の問題とせず、市全体の課題として市民へ周知し、解決に向けた理解を深める方策を望みます。

## ■「永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書」を可決

３月議会において、市民から提出された「永住外国人への地方参政権付与の法制化反対の意見書提出に関する陳情」が総務委員会および本会議で採択されました。これを受けて、同趣旨の「意見書」案を総務委員会の賛成会派から提出することとなり、副委員長の私が提出者となって最終日の本会議に発議し、可決されました。可決された意見書は船橋市議会の意志として、衆議院議長および参議院議長に提出されることになります。

内容としては、①永住外国人への地方参政権付与は、公務員の選定や罷免を国民固有の権利と定めた憲法15条や、第93条第２項などとの関連から問題があること。②永住外国人の参政権取得は帰化によってなされるべきと考えること。といった理由から、永住外国人への地方参政権付与の法制化をしないよう、国に求めるものです。

陳情および意見書の採決にあたっては、保革の議席数が拮抗する状況（保守系25、革新系（公明党含む）25）であることから、その可否が微妙なところでした。本来であれば、議長が保守系から選出されている（議長は採決に加われない）ことから、当初は本会議で否決される（保守系24＜革新系25）ものと思われましたが、反対派の会派「民主党」から１名の退席者が出て、一転可否同数（保守系24＝革新系24）となり、議長裁決の結果、可決されることになったものです。

この問題を巡っては、全国的にも議論を呼んでおり、各地の議会で同種の陳情が出されているとも聞きます。自らの国の在り方を考える重大な問題だけに、慎重な議論を行いたいと考えます。

| 意見書に賛成　24＋議長＝25票 | | | | | 意見書に反対　25－１（退席）＝24票 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市政会 | 自由清政会 | かがやき | 緑政会 | 新風 | 公明党 | 民主党 | 市民社会ネット | 共産党 |
| 5 | 6＋議長 | 6 | 3 | 4 | 10 | 3－退席１ | 4 | 8 |

## ■新校舎建設予算は17億円規模　シリーズ：西海神小建て替えを追う！(6)

３月議会で成立した平成22年度予算において、西海神小学校校舎建て替えにかかる現校舎の解体撤去費用および新校舎の建設費用が盛り込まれ、可決されました。それによると、現校舎の解体撤去に約２億円、また新校舎の建設に約17億円が投じられることになります。今後（６～７月にかけて）それぞれ入札が行われ、工事業者が決まることとなりますが、コスト・安全のいずれにも留意して進められることを願います。

また、４月からは仮設校舎での授業が開始されました。２年間の仮設校舎での授業となりますが、先生方のご苦労をお察ししつつ、授業等に影響のないように見守っていきたいと思います。

校庭に仮校舎が完成

放課後ルームも新たに建設

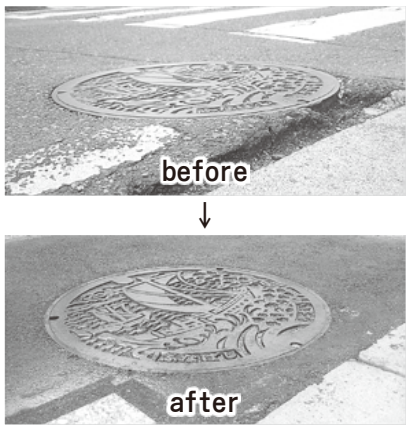
現在の校舎は夏から解体

## ■要望しました・改善しました

地域の方からのご依頼･ご要望を受け、カーブミラーや注意看板の設置などを市担当課と相談し、早速に実現することができました。担当課の対応に感謝するとともに、ご近所でお気づきの点やお困り事がございましたら、お気軽にご相談いただければと思います。

海神南小学校正門付近、校門があり、児童の通行が多いことを知らせる注意喚起看板を複数枚設置しました。

海神5丁目京成線高架付近、高架壁によって視界が遮られるとのご意見により、カーブミラーを設置しました。



海神町東一丁目
マンホールのふたが浮き上がっており、危険なことから補修を行いました。

## ■市政報告会を開催しました

去る2月21日（日）、海神公民館講堂において3回目となる市政報告会を開催しました。当日は穏やかな天候にもめぐまれ、100名を超す皆様にご来場いただいたほか、ご来賓の藤代孝七市長からも力強い激励をいただきました。

今後とも、このような会合を開催していきたいと考えていますので、お気軽にご参加ください。

平成22年度予算をいち早く説明

藤代市長からも激励をいただく

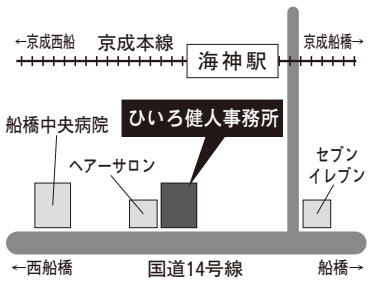
## 活動日誌

**最近の主な活動の一部をご紹介します。**

1月1日（金）　実践倫理佼正会元朝式出席
1月6日（水）　議会　総務委員会
1月7日（木）　海神6丁目東町会新年会出席
1月8日（金）　市内幼稚園賀春の会
1月10日（日）　自衛隊降下訓練始め参観
1月11日（月）　陸上自衛隊広報センター視察
1月13日（水）　私立幼稚園連合会との勉強会
1月15日（金）　北一百寿会新年会出席
1月16日（土）　高校生スピーチコンテスト奉仕
　　船橋稲門会新年会出席
1月17日（日）　ライオンズクラブ小学生凧揚げ大会奉仕
　　海神町南長生会新年会出席
1月19日（月）　流山青年会議所新年会出席
1月21日（木）　総合教育センター視察
1月22日（金）　成田新高速鉄道視察
1月24日（日）　本中山自治会町会連合会新年会出席
1月26日（日）　船橋青年会議所新年会出席
1月29日（金）　京葉5市議会研修会出席
2月4日（木）～7日（日）　レオ地区海外研修（マレーシア）参加
2月9日（火）　西図書館視察
　　全国若手市議会議員の会千葉ブロック研修会
2月10日（水）　議会　総務委員会
2月13日（土）　都市計画マスタープラン市民懇談会出席
2月15日（月）　防犯カメラ設置起工式出席
2月17日（水）　～3月議会に向けた会派勉強会
2月21日（日）　市政報告会を開催
2月25日（木）　議会　開会日
2月27日（土）　田久保尚俊県議新春の集い出席
2月28日（日）　レオ地区協議会出席
3月5日（金）～12日（金）　議会　議案質疑
3月7日（日）　市内保育園卒園式参観
3月10日（水）　葛飾中学校卒業式参観
3月16日（火）　議会　総務委員会
3月19日（金）　海神小学校卒業式参観
3月20日（土）　ボーイスカウト船橋3団
　　オーバーナイトハイク奉仕
3月21日（日）　船橋中央レオクラブ15周年記念式典出席
3月26日（金）　議会　閉会日
3月28日（日）　早朝野球開会式出席
　　自衛隊協力会総会出席

## ■事務所を移転しました

このたび、下記の場所に事務所を移転しました。
新住所：〒273-0021　船橋市海神6-11-9
　　電話・ＦＡＸは変更ありません。
国道14号沿い、以前お蕎麦屋さんだったところです。
4月中旬より業務を開始します。日中は不在がちにしておりますので、お越しの際はできるだけ事前にお電話下さい。



お蕎麦屋さんの青いテントが目印です

## ■ホームページをご覧下さい

**日色健人 Official Web Site** では、市議会レポートのバックナンバーを掲載しているほか、会議録や質問動画へのリンク、活動ブログを日々（?）更新しています。お時間のあるときにぜひ一度ご覧下さい。

アドレスは
**http://www.taketo2784.net/**
（タケトフナバシ．ネット）です。
検索サイトで「日色健人」と入力いただいてもたどりつけます。

twitter™「ツイッター」はじめました。
アカウントは@ HIIROTAKETO です。ちょっとしたつぶやきをたまにつぶやいています。

## ■朝の駅頭活動スケジュール

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|
| 船橋駅 | 東船橋駅 | 海神駅<br>東海神駅ほか | 西船橋駅 | 津田沼駅 |

※公務・急用・荒天などにより変更する場合があります。

### ■日色　健人（ひいろ・たけと）プロフィール

1978年船橋市生まれ　31歳　二葉幼稚園、西海神小学校、市川学園中・高を経て早稲田大学法学部卒業。サラリーマン生活を経てアメリカ合衆国西海岸を南北に貫く「パシフィック・クレスト・トレイル」全4200kmを徒歩で踏破（日本人初）。2007年4月の船橋市議会議員選挙において3457票を頂き初当選。現在1期目。総務委員会副委員長・会派「市政会」所属
地域での主な活動:ボーイスカウト船橋第3団団委員・船橋稲門会（早大OB会）幹事、ライオンズクラブ国際協会333-Cレオ地区会長、船橋市国際交流協会会員、日本山岳会会員、㈳船橋青年会議所会員　ほか

趣　　味:アウトドアスポーツ（山歩き､キャンプ､カヌー）
愛 読 書:ヘンリー・D・ソロー「森の生活」
座右の銘:Where there is a will, there is a way.
　　（意志あるところ必ず道あり）

### ■編集後記

来年の今頃には改選を迎えます。自分の声が届いているか、皆さんの声を拾えているか、改めて考えています。
（健）